



平成 29 年 11 月 10 日

各 位

会社名 株式会社イワキ  
代表者名 代表取締役社長 藤中 茂  
(コード番号：6237 東証第二部)  
問合せ先 専務取締役 松田 健二  
(TEL 代表 03-3254-2931)

平成 30 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異、  
平成 30 年 3 月期通期連結業績予想の修正、平成 30 年 3 月期末配当予想の修正、  
及び剰余金の配当（中間配当）に関するお知らせ

平成29年5月12日に公表いたしました平成30年3月期第2四半期連結累計期間（平成29年4月1日～平成29年9月30日）の業績予想値と本日公表の同期間の実績値との差異についてお知らせいたします。また、本日開催の取締役会において平成30年3月期通期連結業績予想の修正、当該修正に基づく年間配当金額予想の修正を決議しました。これに伴い剰余金の配当（中間配当）を以下のとおり決議しましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想値と実績値の差異  
(平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	13,075	767	923	647	86円45銭
実績値 (B)	13,435	1,015	1,354	1,016	135円78銭
増減額 (B-A)	360	248	431	369	
増減率 (%)	2.8	32.4	46.7	57.1	
ご参考：前期第2四半期実績 (平成29年3月期第2四半期)	12,394	771	1,086	779	104円12銭

2. 平成30年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A） （平成29年5月12日発表）	26,517	1,672	1,969	1,450	193円82銭
今回修正予想（B）	26,838	1,786	2,290	1,735	231円90銭
増減額（B－A）	321	114	320	285	
増減率（%）	1.2	6.8	16.3	19.6	
ご参考：前期実績 （平成29年3月期）	25,146	1,465	2,136	1,690	225円93銭

3. 差異及び修正の理由

（1）平成30年3月期第2四半期連結業績予想値と実績値との差異の理由

平成30年3月期第2四半期連結累計期間の実績値につきましては、半導体・液晶市場および表面処理装置市場向け売上が好調に推移し、増収効果および経費の見直し等により営業利益以降の段階利益を押し上げ、加えてアジアを中心とした関係会社の業績が好調であり、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は前回予想を上回る結果となりました。

（2）平成30年3月期通期連結業績予想の修正

平成30年3月期通期連結業績予想につきましては、半導体・液晶市場および表面処理装置市場向け売上高は引き続き好調が見込まれ、加えて主力の水処理市場向けも堅調な売上高が見込まれること等により、前回発表予想を321百万円（1.2%）上回り、また増収効果等により、営業利益以降の段階利益も予想を上回る見通しとなりました。加えて、アジアを中心とした海外合弁会社からの利益も増加する見通しのため、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益を上記のとおり修正いたします。

なお、業績予想の前提となる為替レートにつきましては、期初は1米ドル113円、1ユーロ120円と想定しており、第3四半期以降は1米ドル107円、1ユーロ128円に変更しております。

#### 4. 期末配当予想の修正及び剰余金の配当（中間配当）

##### （1）期末配当予想の修正の内容

	一株当たり配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回予想	26円00銭	33円00銭	59円00銭
今回修正予想	—	36円00銭	70円00銭
当期実績	34円00銭	—	—
前期実績 (平成29年3月期)	30円00銭	38円00銭	68円00銭

##### （2）剰余金の配当（中間配当）の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成29年5月12日公表)	前期実績 (平成29年3月期中間)
基準日	平成29年9月30日	同左	平成28年9月30日
1株当たり配当額	34円00銭	26円00銭	30円00銭
配当金総額	254百万円	—	224百万円
効力発生日	平成29年12月1日	—	平成28年12月1日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

##### （3）理由

当社は、株主の皆様に対する利益配分を経営上の重要な課題であると認識しており、利益剰余金の配当につきましては、将来の事業展開に備え、財務体質をいっそう強化するために必要な内部留保を確保しながら、継続的、安定的な配当を実施することを基本方針とし、親会社株主に帰属する当期純利益の30%を目安として配当に充てる方針としております。

当期の配当につきましては、アジア地区の半導体・液晶市場向けおよび表面処理装置市場向けの好調な売上や製品の競争力向上などにより業績は好調ですが、今下期以降の空気駆動ポンプ及びマグネットポンプの原材料価格の高騰や来期以降の半導体・液晶市場の不透明な状況等を鑑み、1株当たりの年間配当金額予想は、上記配当方針を踏まえ、配当性向30.2%の年間70円00銭とさせていただき、中間配当は34円00銭と決議いたしました。

なお、期末配当金につきましては、平成30年6月開催予定の当社第63期定時株主総会に付議いたします。

（注）予想数値は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想と異なる可能性があります。

以 上